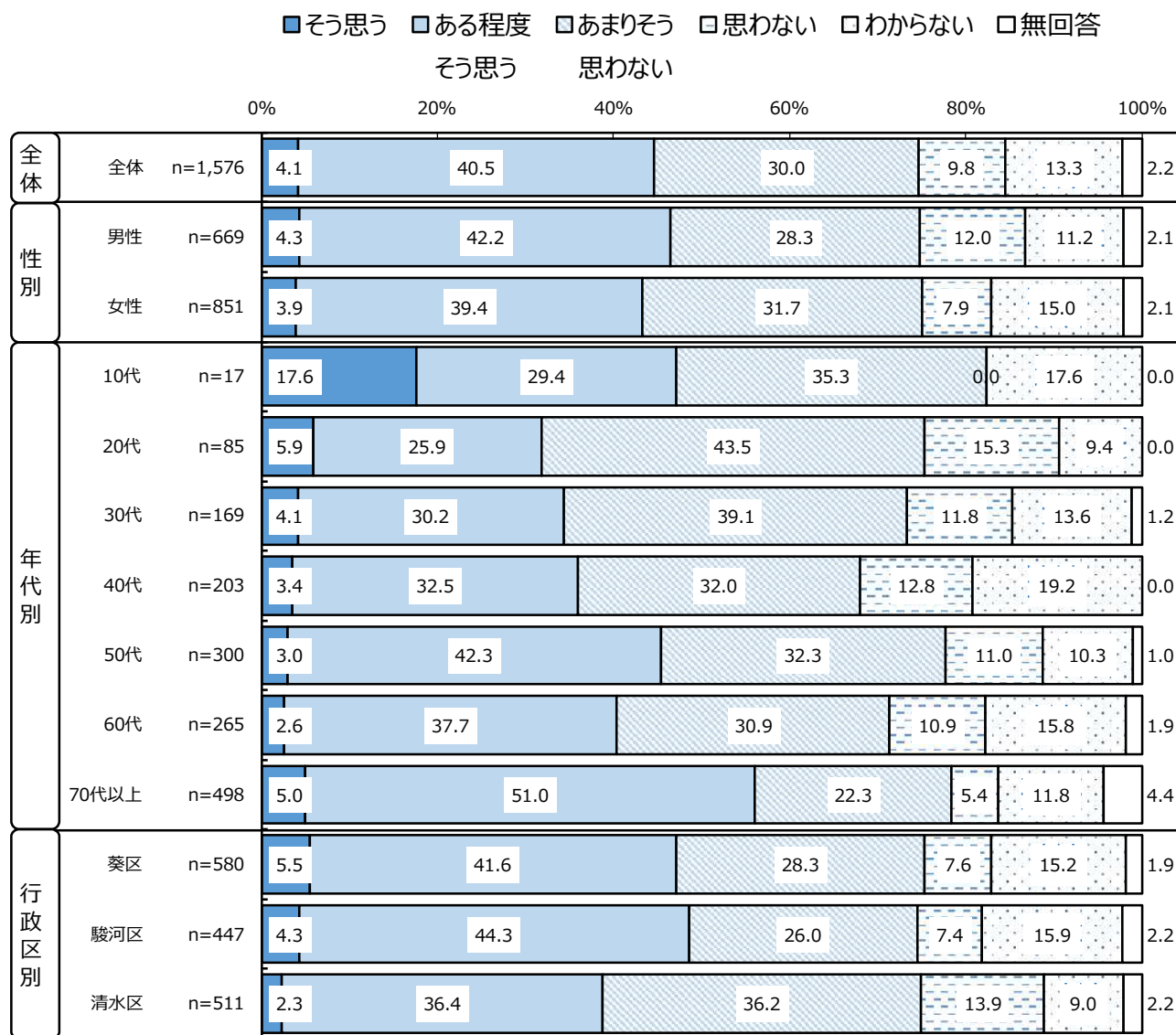


2. 災害発生時の情報について

問1 静岡市は災害に強く、安全・安心に暮らせるまちだと思いますか。
(○は1つ)

静岡市は災害に強く、安全・安心に暮らせるまちだと思うかについては、「ある程度そう思う」が40.5%と最も多く、次いで「あまりそう思わない」30.0%、「わからない」13.3%となっています。

また、『そう思う』（「そう思う」＋「ある程度そう思う」）は44.6%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「思わない」）は39.8%となっています。



性別でみると、『そう思う』は男性46.5%、女性43.3%となっています。『そう思わない』は男性40.3%、女性39.6%となっています。

年代別でみると、『そう思う』は70代以上56.0%、10代47.0%、50代45.3%の順になっています。『そう思わない』は20代58.8%、30代50.9%、40代44.8%の順になっています。

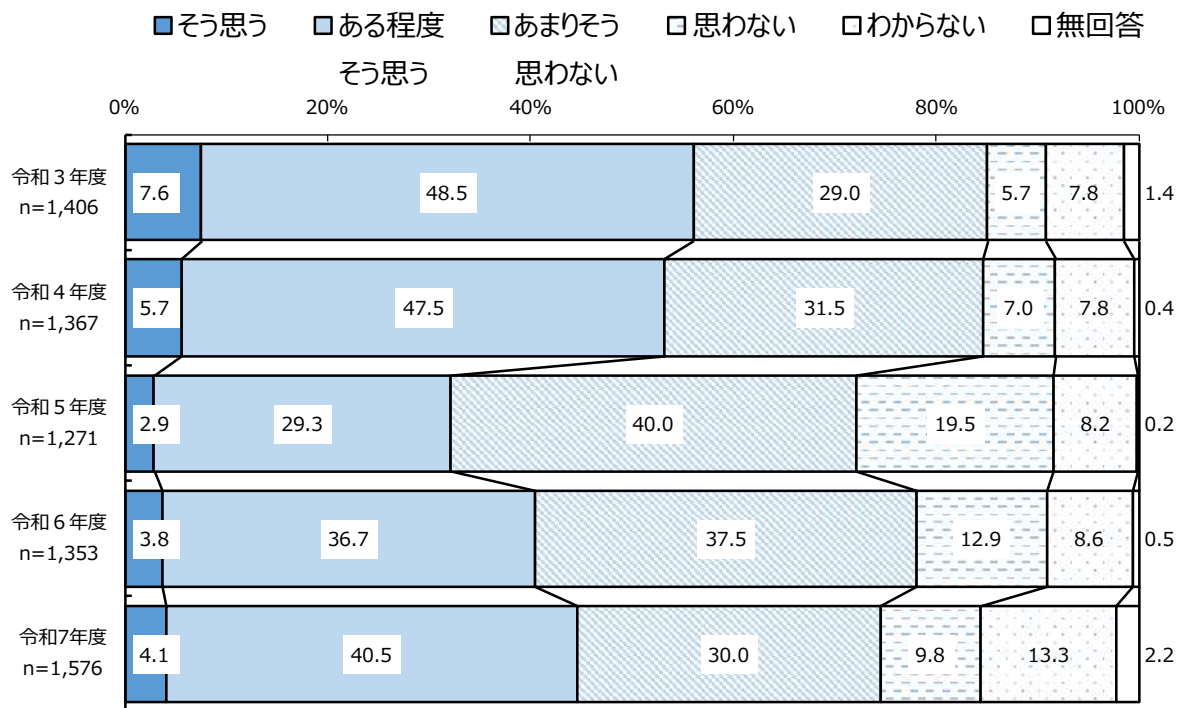
行政区別でみると、『そう思う』は駿河区48.6%、葵区47.1%、清水区38.7%の順になっています。

令和3年度～7年度の経年比較

静岡市は災害に強く、安全・安心に暮らせるまちだと思うかについては、「そう思う」は令和7年度4.1%となりました。令和6年度3.8%より0.3ポイント増加しました。令和3年度以降において一番低い割合である令和5年度2.9%からは1.2ポイント増加し、一番高い割合であった令和3年度7.6%からは3.5ポイント減少しました。

『そう思う』（「そう思う」＋「ある程度そう思う」）は、令和7年度44.6%となりました。令和6年度40.5%より4.1ポイント増加しました。令和3年度以降最も低い割合である令和5年度32.2%からは12.4ポイント増加し、最も高い割合であった令和3年度56.1%からは11.5ポイント減少しました。

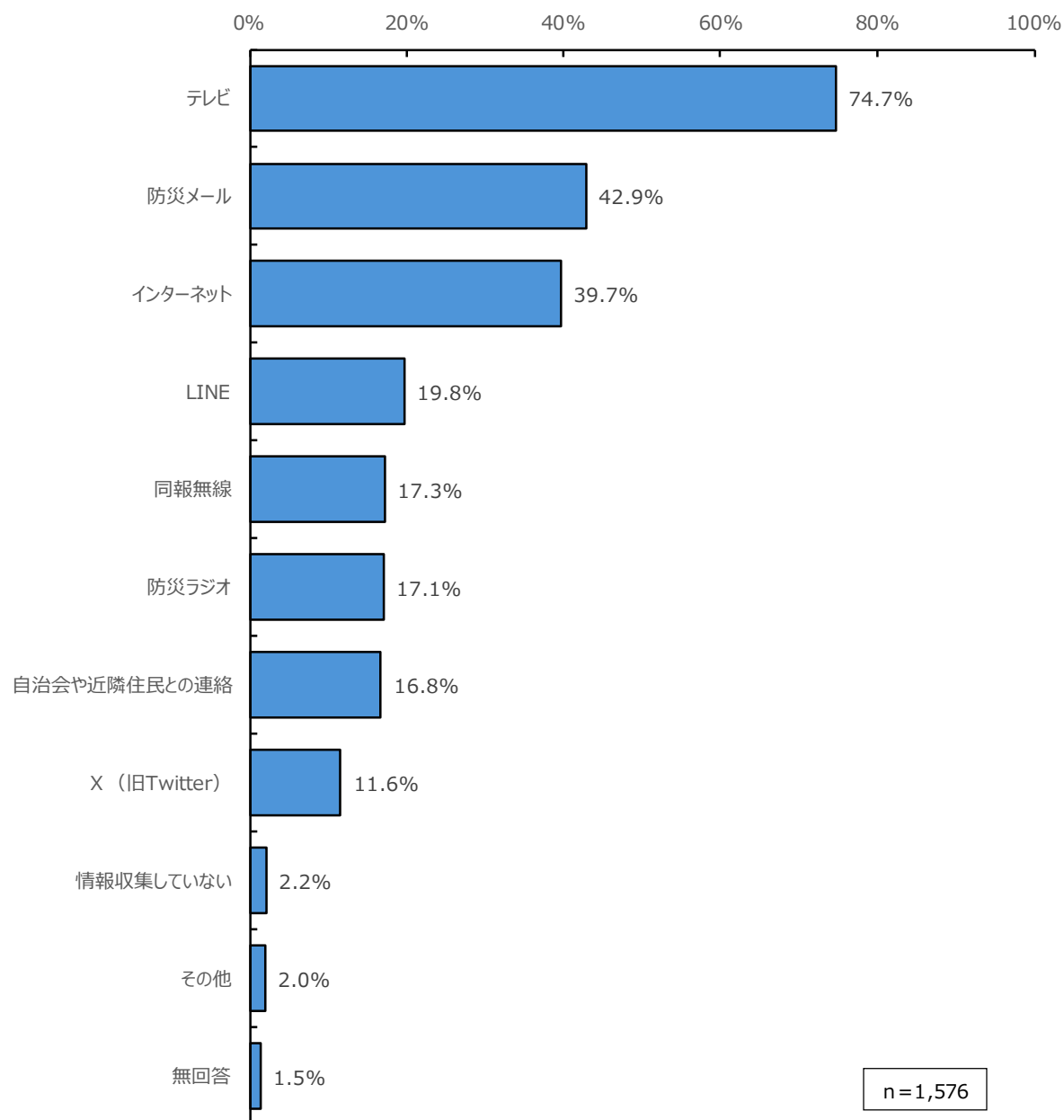
『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「思わない」）は、令和7年度39.8%となりました。令和6年度50.4%より10.6ポイント減少しています。



※令和3年度、4年度の選択肢「4ほとんど、そうは思わない」は、令和5年度、6年度の選択肢「4思わない」として表しています。

問2 災害時の避難情報について、どのような手段により情報収集をしていますか。
(〇はいくつでも)

災害時の避難情報の収集手段については、「テレビ」が74.7%と最も多く、次いで「防災メール」42.9%、「インターネット」39.7%、「LINE」19.8%、「同報無線」17.3%などとなっています。



調査結果【2. 災害発生時の情報について】

単位：(%)

		調査数 (人)	テレビ	防災メール	インターネット	LINE	同報無線	防災ラジオ	自治会や近隣住民との連絡	X (旧Twitter)	情報収集していない	その他	無回答
全体		1,576	74.7	42.9	39.7	19.8	17.3	17.1	16.8	11.6	2.2	2.0	1.5
性別	男性	669	72.0	40.2	42.5	17.5	17.6	18.7	16.7	12.6	2.2	1.3	1.6
	女性	851	77.2	45.9	38.0	21.7	17.3	15.7	17.0	10.9	2.0	2.6	1.3
年代別	10代	17	82.4	29.4	70.6	41.2	5.9	5.9	11.8	47.1	0.0	0.0	0.0
	20代	85	54.1	22.4	63.5	27.1	9.4	7.1	2.4	35.3	5.9	1.2	1.2
	30代	169	69.2	29.6	68.0	29.0	8.3	10.1	5.9	36.7	2.4	3.6	1.2
	40代	203	70.0	40.4	60.1	25.1	17.2	12.3	8.4	21.2	4.4	1.5	0.0
	50代	300	75.3	50.3	51.0	24.3	15.0	18.3	13.7	8.3	2.3	1.0	0.3
	60代	265	75.8	54.7	34.7	19.6	17.4	16.2	17.4	3.4	1.5	2.3	1.5
	70代以上	498	80.9	42.8	13.7	10.0	24.1	22.7	28.3	1.0	1.0	2.4	2.8
行政区別	葵区	580	74.3	41.4	42.4	20.7	16.9	16.7	15.3	12.4	2.4	2.1	1.6
	駿河区	447	72.5	44.5	41.2	19.7	18.6	17.4	15.4	11.9	2.5	1.6	1.6
	清水区	511	77.3	44.2	36.8	19.0	17.2	16.8	19.6	11.2	1.8	2.3	1.2

性別でみると、男性と女性では順位が異なり、男性は「テレビ」72.0%、「インターネット」42.5%、「防災メール」40.2%の順となっています。女性は「テレビ」77.2%、「防災メール」45.9%、「インターネット」38.0%の順となっています。

年代別でみると、「テレビ」は10代82.4%、70代以上80.9%、60代75.8%の順になっています。「防災メール」は60代54.7%、50代50.3%、70代以上42.8%の順になっています。「インターネット」は10代70.6%、30代68.0%、20代63.5%の順になっています。このほか10代、20代、30代において「X（旧Twitter）」、「LINE」の割合が高い傾向にあります。

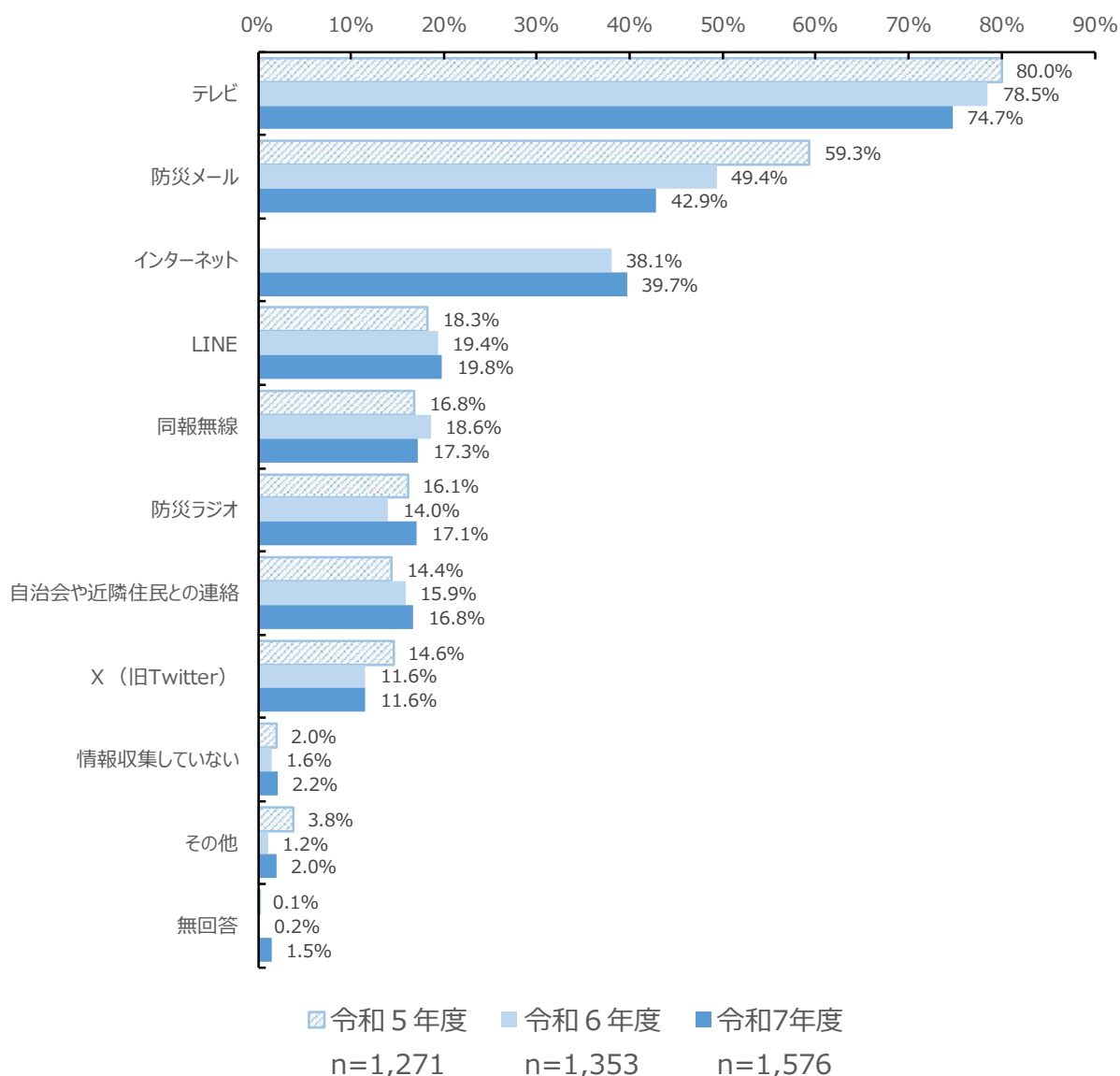
行政区別でみると、「テレビ」は清水区77.3%、葵区74.3%、駿河区72.5%の順になっています。「防災メール」は駿河区44.5%、清水区44.2%、葵区41.4%の順になっています。「インターネット」は葵区42.4%、駿河区41.2%、清水区36.8%の順になっています。

令和5年度～7年度の経年比較

災害時の避難情報の収集手段については、令和7年度と令和6年度を比較し増加した項目は「インターネット」「LINE」「防災ラジオ」「自治会や近隣住民との連絡」の4項目となっています。「インターネット」は令和7年度39.7%となりました。令和6年度38.1%より1.6ポイント増加しています。「防災ラジオ」は令和7年度17.1%となりました。令和6年度14.0%より3.1ポイント、令和5年度16.1%より1.0ポイント増加しています。

一方、令和7年度と令和6年度を比較し減少した項目は「テレビ」「防災メール」「同報無線」の3項目となっています。「テレビ」は令和7年度74.7%となりました。令和6年度78.5%より3.8ポイント、令和5年度80.0%より5.3ポイント減少しています。「防災メール」は令和7年度42.9%となりました。令和6年度49.4%より6.5ポイント、令和5年度59.3%より16.4ポイント減少しました。

「X（旧Twitter）」は令和7年度および令和6年度11.6%と同様の割合となりました。

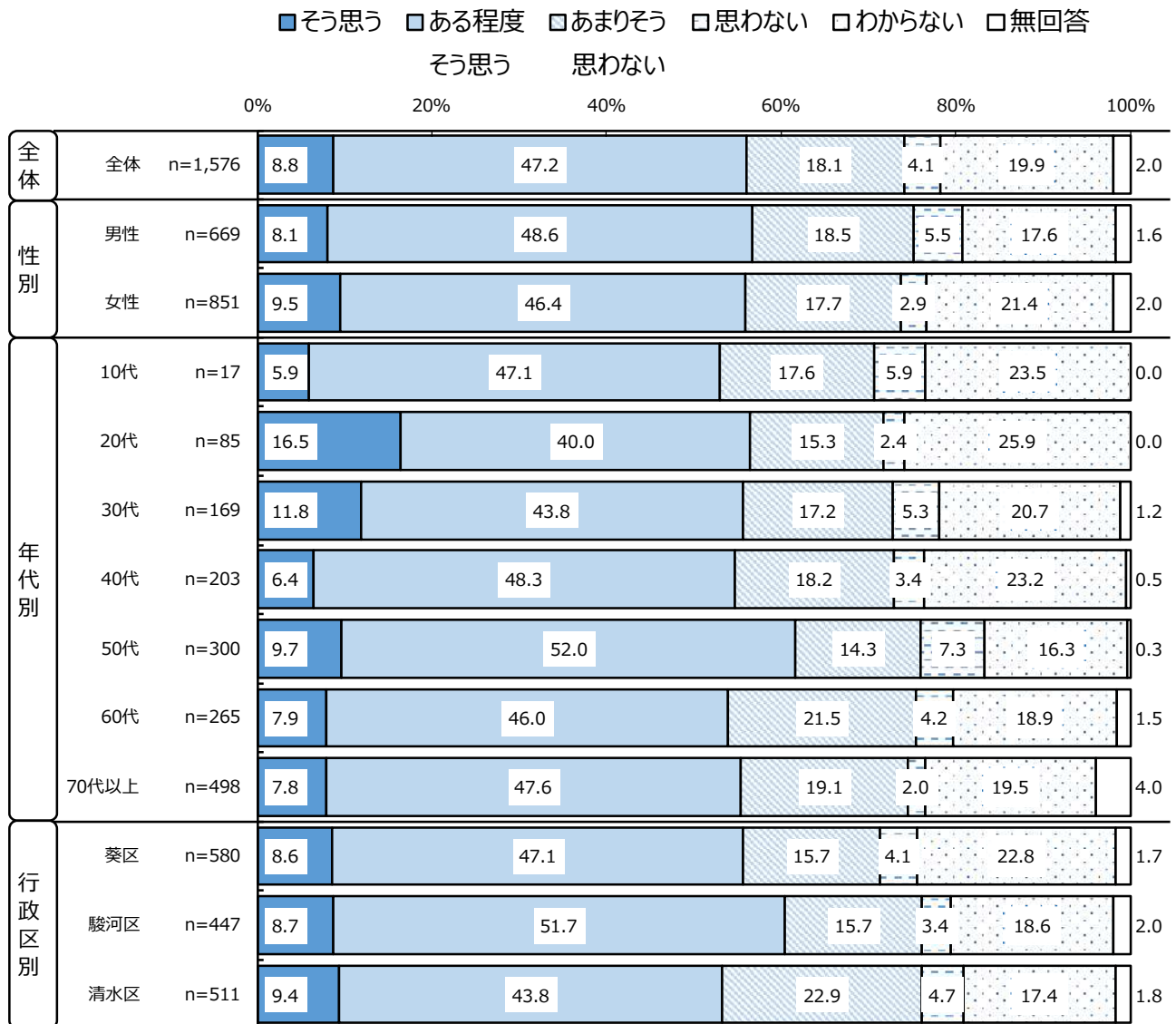


※インターネットは令和6年度より選択肢に追加されました。

問3 災害時における災害関連情報について、静岡市はあなたの必要なタイミングで発信していると思いますか。(〇は1つ)

災害時における災害関連情報について、静岡市が必要なタイミングで発信していると思うかについては、「ある程度そう思う」が47.2%と最も多く、次いで「わからない」19.9%、「あまりそう思わない」18.1%となっています。

また、『そう思う』（「そう思う」＋「ある程度そう思う」）は56.0%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「思わない」）は22.2%となっています。



性別でみると、『そう思う』は男性56.7%、女性55.9%となっています。『そう思わない』は男性24.0%、女性20.6%となっています。

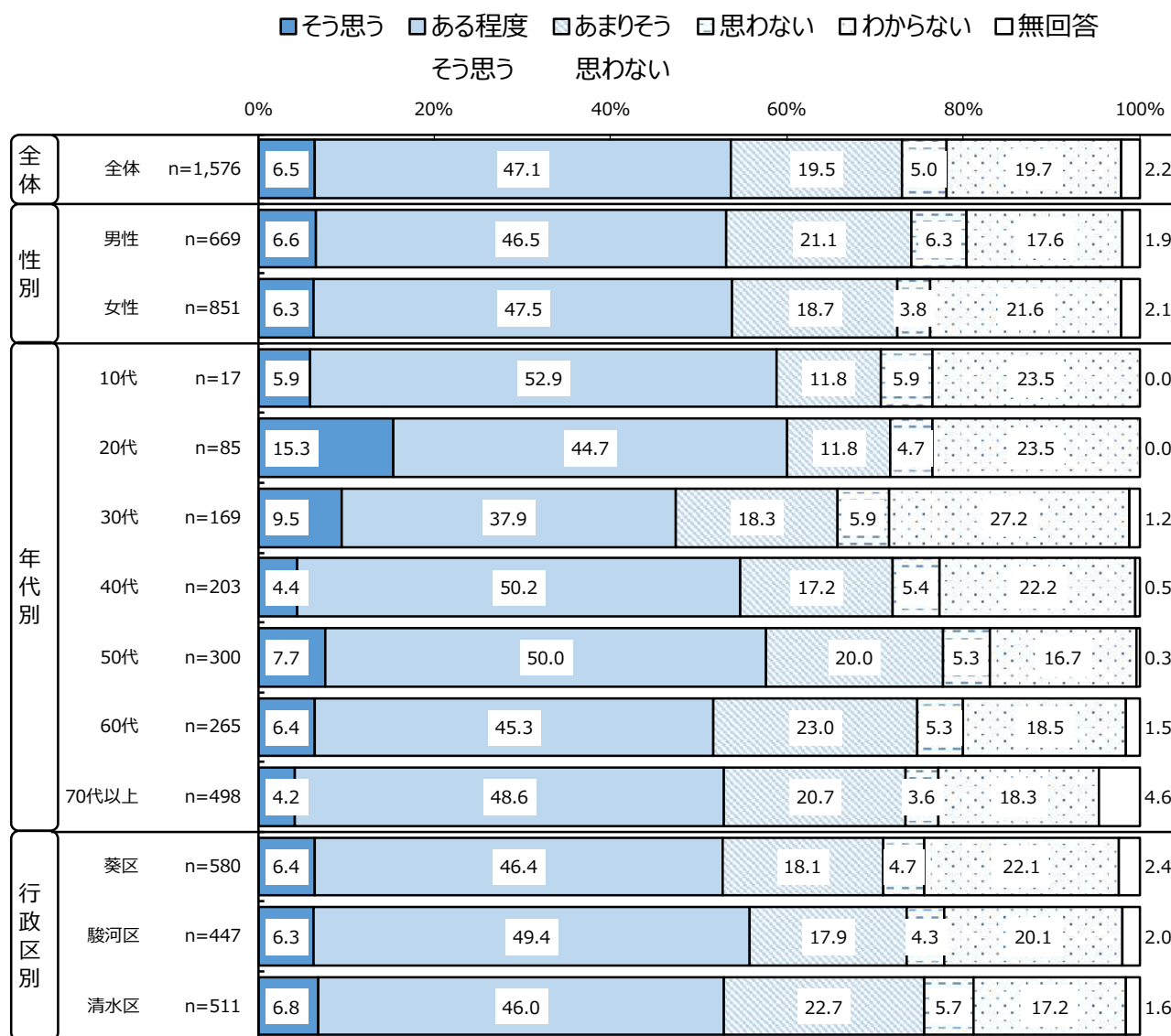
年代別でみると、『そう思う』は50代61.7%、20代56.5%、30代55.6%の順になっています。『そう思わない』は60代25.7%、10代23.5%、30代22.5%の順になっています。

行政区別でみると、『そう思う』は駿河区60.4%、葵区55.7%、清水区53.2%の順になっています。

問4 災害時における災害関連情報について、静岡市はあなたの必要な内容を発信していると思いますか。(〇は1つ)

災害時における災害関連情報について、静岡市は必要な内容を発信していると思うかについては、「ある程度そう思う」が47.1%と最も多く、次いで「わからない」19.7%、「あまりそう思わない」19.5%となっています。

また、『そう思う』（「そう思う」＋「ある程度そう思う」）は53.6%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「思わない」）は24.5%となっています。



性別でみると、『そう思う』は男性53.1%、女性53.8%となっています。『そう思わない』は男性27.4%、女性22.5%となっています。

年代別でみると、『そう思う』は20代60.0%、10代58.8%、50代57.7%の順になっています。『そう思わない』は60代28.3%、50代25.3%、70代以上24.3%の順になっています。

行政区別でみると、『そう思う』は駿河区55.7%、葵区および清水区52.8%の順になっています。

調査結果【2. 災害発生時の情報について】